

地域のもりから学ぶ森林づくり 2014



「森林の生物多様性を学ぶ」 第四回森林教室

今年度の第4回森林教室は9月24日（水）、定山溪中学校および石狩森林管理署管内奥定山溪国有林2115林班で実施しました。

今回は、同地周辺で採取した種子から育てたミズナラや幼苗で持ち帰り育てたダケカンバ、ケヤマハンノキなどを再び奥定山溪に返し、森林の持つ機能を更に発揮させようということを目的としています。



カミネッコン組み立て中

まず最初に中学校の体育で開会式を行った後、再生段ボール製のカミネッコンを組み立てます。次に組み立てたカミネッコンに土と苗木を入れると完成です。



土と苗木を入れます



完成です

完成したカミネッコンを持って奥定山溪国有林へ移動し、3～4個を1組にして設置すると乾燥防止に水をかけます。



設置したカミネッコンに乾燥防止の水かけ

今回植栽した樹種は、ミズナラ10本、ケヤマハンノキ8本、ダケカンバ3本、ナナカマド1本の合計22本です。

その後昨年までに植栽した苗木の生長調査を行うとともに、ミズナラやイタヤカエデ、ハリギリなど約30本の幼苗を採取し、学校に持ち帰りました。

これらの苗木は来年度以降、森へ返す予定となっています。



成長調査



幼苗採取